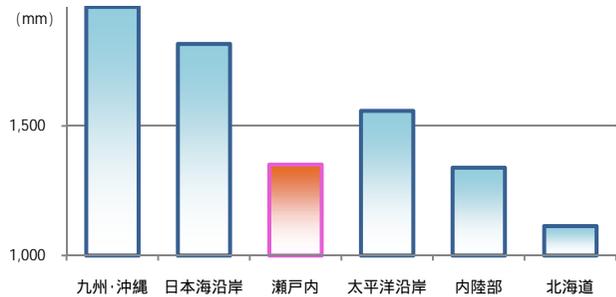


(1)ため池とは

ため池は、降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のことである。

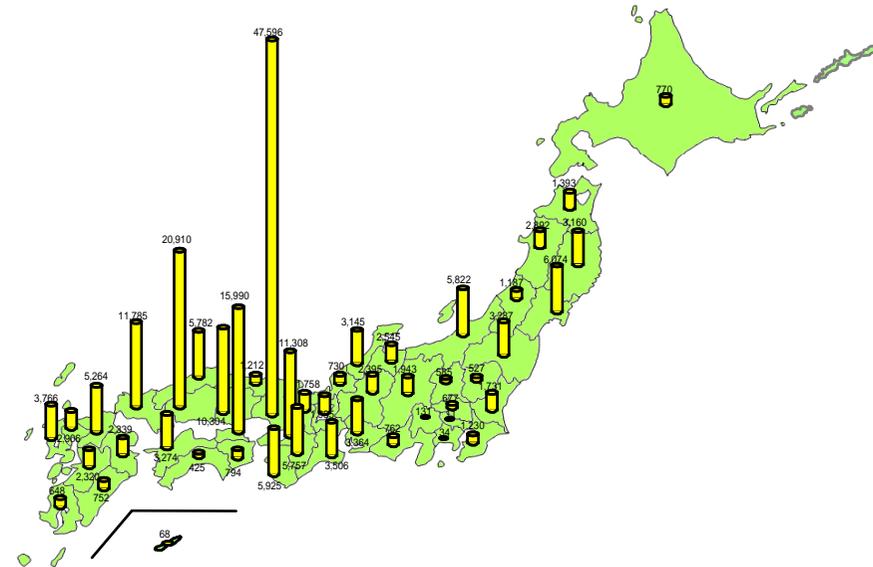
地域別の過去40年間の年降水量平均値

資料：気象庁HP



注1) 太平洋沿岸は、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、東京都、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県を計上。
 注2) 日本海沿岸は、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、鳥取県、島根県を計上。
 注3) 内陸部は、栃木県、群馬県、埼玉県、長野県、山梨県、岐阜県、滋賀県、奈良県を計上。
 注4) 瀬戸内地方は、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県を計上。

全国のため池分布状況



ため池の多い都道府県

No.	都道府県名	箇所数	No.	都道府県名	箇所数
1	兵庫県	47,596	6	岡山県	10,304
2	広島県	20,910	7	宮城県	6,074
3	香川県	15,990	8	和歌山県	5,925
4	山口県	11,785	9	新潟県	5,822
5	大阪府	11,308	10	島根県	5,782

全国合計 210,769
 資料：H9 農村振興局調べ

ため池は全国に約21万箇所存在する。

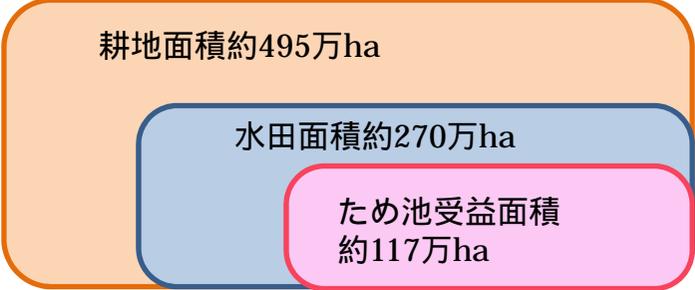
ため池は西日本を中心に全国に分布している。

瀬戸内地域は年間を通じて降水量が少ないことから、古くからため池が造られ、全国の約6割が所在している。

(2) ため池の歴史

ため池は、新田開発や用水不足解消を目的に、古代から近代にわたる長い歴史の中で築造され、現代に至っても貴重な水源として農業の礎の役割を果たしている。

ため池の水を農業用水として利用している農地の面積は約117万haである。



ため池受益面積は受益面積2ha以上のものを対象に計上
資料:ため池台帳(H9、農林水産省土地改良企画課)
耕地及び作付統計面積(H9、農林水産省統計情報部)



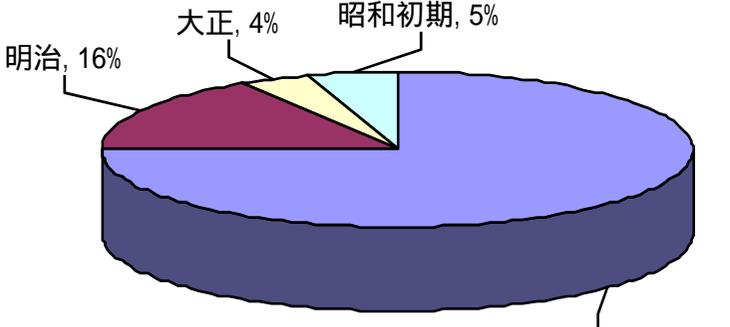
昔の築造風景



昔の取水施設

ため池は江戸時代以前に造られたものが大部分を占めており、古くから農業の貴重な水源として利用されている。

築造年代	箇所数
江戸時代以前	約48,500
明治・大正時代	約13,000
昭和初期	約3,500

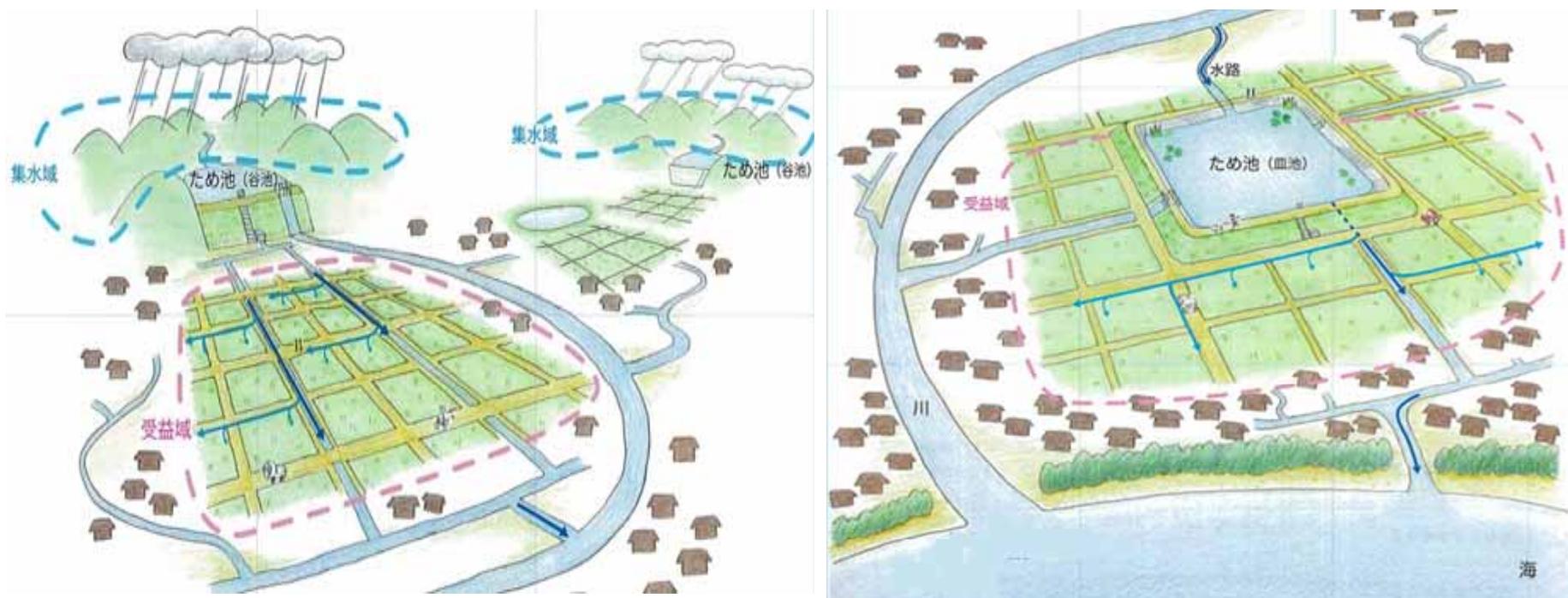


データは受益面積2ha以上のものを対象
資料:ため池台帳(H元、農林水産省土地改良企画課)

(3) ため池のしくみ

ため池へ流れ込む水は、ため池上流の集水域に降った雨が集まってきたものである。
ため池の水は、受益域で農業用水として使われた後に、水路を通じて河川に流れ込む。

< ため池の水の流れのイメージ >

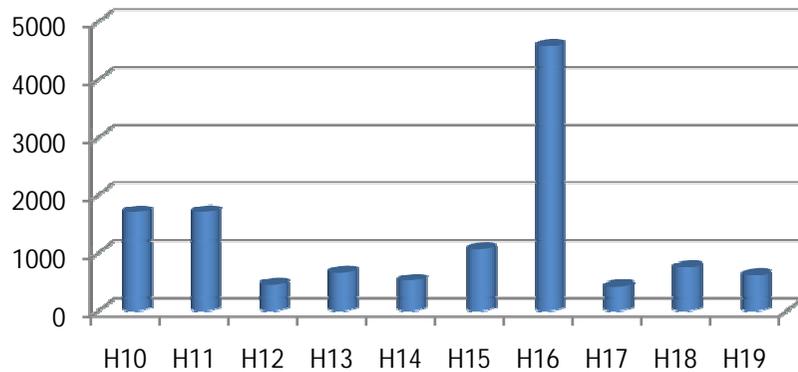


出典:「兵庫のため池ファイル」(兵庫県、H19.1)

(4) ため池を巡る課題(1)

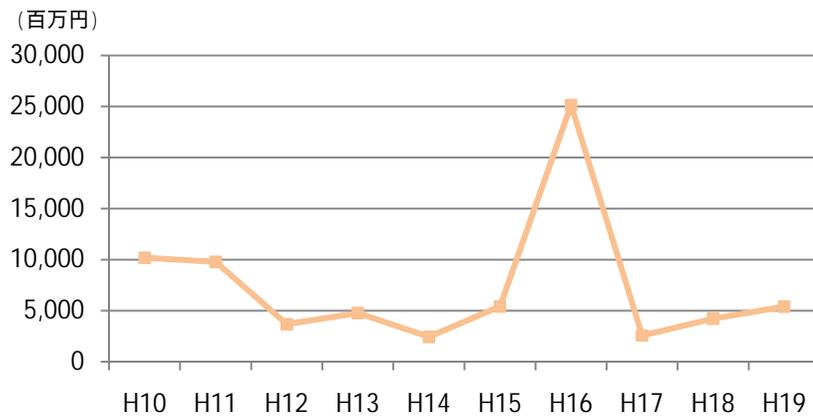
ため池の老朽化等により危険箇所が発生し、決壊等の災害が発生する危険性がある。

ため池の被害箇所数の推移



資料:防災課

ため池の災害被害額の推移



資料:防災課

ため池の老朽化

多くのため池が老朽化により漏水、侵食等の危険箇所が発生し、大雨や地震を契機に決壊するおそれがある。



堤体の侵食が著しいため池



被災したため池

(4) ため池を巡る課題(2)

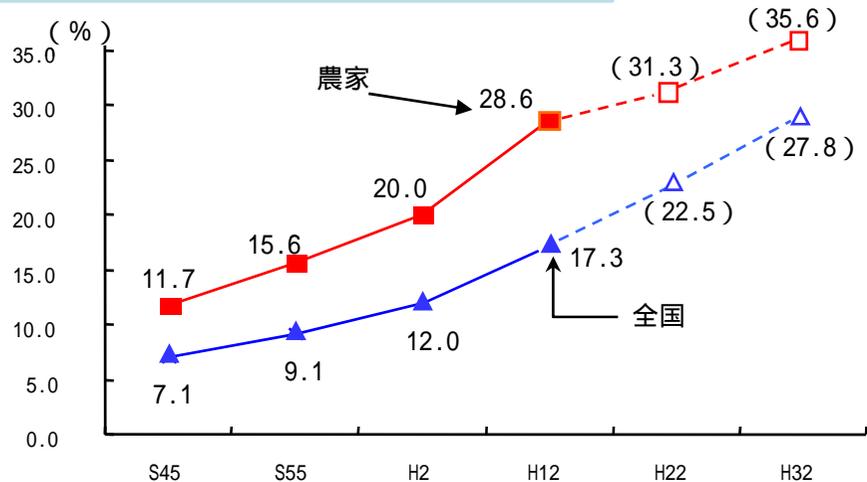
農業者の減少・高齢化に伴い、維持管理がおろそかになり、ため池が有する農業用水としての役割や、親水・生態系保全などの多様な役割の発揮が困難になることが懸念されている。

農家戸数、農業就業人口、耕地面積の推移

	昭35	45	55	平2	12	17
農家戸数(万戸)	606	540	466	383	312	285
農業就業人口(万人)	1,454	1,035	697	565	389	335
うち65歳以上(%)	-	-	25	36	53	58
耕地面積(万ha)	607	580	546	524	483	469

資料: 農林業センサス

高齢者(65歳以上)割合の推移



資料: 農林業センサス

ため池の管理水準の低下

管理がおろそかになると、堤体の竹木の繁茂等による強度低下、漏水、クラック等危険箇所の発見の遅れ等、災害に脆弱なまま放置されるおそれがある。

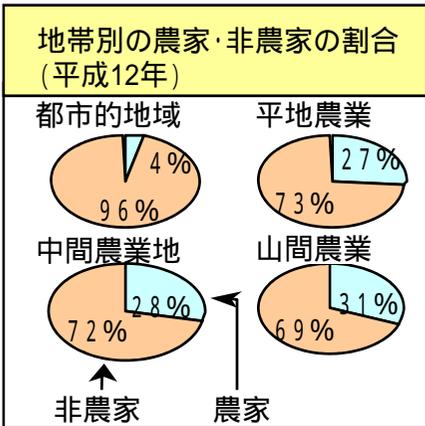
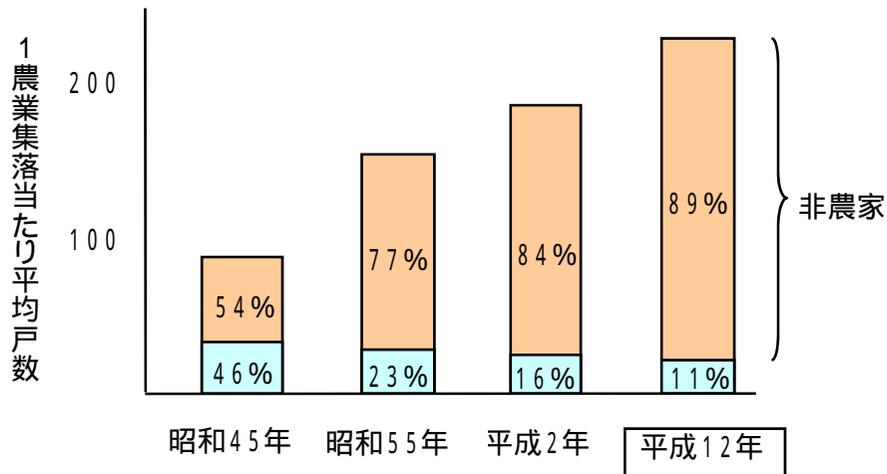
異常時においても、十分な防災対応がとれないおそれがある。



(4) ため池を巡る課題(3)

農村地域の都市化・混住化に伴い、ゴミの不法投棄、水質悪化、外来種による生態系の破壊などの問題が生じている。

農業集落の農家と非農家の割合の推移



資料: 農林業センサス



ゴミの不法投棄が著しいため池



ブラックバス等移入種の繁殖

(5) 保全体制の取り組み

ため池を適切に保全し、多様な役割が十分に発揮できるよう、地域住民等が参画するため池の保全体制の確立を図っている。

取組事例

ため池管理者、地域住民、活動団体、行政等が一体となってため池の環境保全や維持管理への取組を実施している。

地域住民等のため池への関心が高まり、ため池の良好な環境保全や維持管理に貢献している。

ワークショップ

ため池利活用の整備構想や活動計画の作成等



クリーンキャンペーン

草刈りやゴミ拾い等のため池の清掃活動と地域交流会



環境学習

水辺動植物の観察会や水質調査等を通じた環境学習



動植物の保護

工事に伴う動植物の移植保護、池干による外来生物の駆除等

